

10. 特別セッション（一般開放セッション）

「福島第一原子力発電所廃止措置への貢献を目的に創設された廃炉地盤工学の概要と活用方法の検討」

地盤工学会では、文部科学省「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」において採択された『福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技术開発と人材育成プログラム』（2015年度～2019年度）の遂行にあたって、地盤工学会の日本全国におよぶ広いネットワークと産官学の英知を活用するために、『福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会（以降：廃炉地盤工学委員会、東畑郁生委員長）』を設立して活動を行っている。

廃炉地盤工学委員会では、福島第一原子力発電所の廃炉事業への貢献を目的に、地盤工学的技術の廃炉過程での活用と学問的特性の明確化を主体とした「廃炉地盤工学」の創設を目指して検討を行ってきた。廃炉地盤工学は廃炉作業を担う若手技術者の育成の基礎になることを目的としているが、相互の理解が十分でない「原子力分野」と「地盤工学分野」の架け橋的な役割を担うことも大きな使命である。このようなコンセプトのもと、廃炉地盤工学を構成する学問単位である地盤材料学、地盤環境学、地盤施工学では様々な技術の開発や改良のための検討を進めてきた。

本年度は上記委託事業の最終年度にあたるため、本特別セッションでは、これまで行なった主な技術検討や研究・開発の概要を廃炉地盤工学の構成学問単位との関連の下に報告し、廃炉地盤工学の更なる充実や福島原発の廃炉における地盤工学的技術の活用の可能性を議論する。

日 時：2019年7月17日（水）午前Ⅱ 10：50～12：20

会 場：第1会場（ソニックシティホール 2F小ホール）

主催委員会：福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会
（略称：廃炉地盤工学委員会）

座 長：東畑 郁生（委員長、関東学院大学）

副座長（総合司会）：小峯 秀雄（委員会座長、早稲田大学）

プログラム：

- | | | |
|-------------|---|-------------------|
| 10:50～10:55 | 挨拶 | 東畑 郁生（委員長、関東学院大学） |
| 10:55～11:15 | 地盤施工学・地盤材料学・地盤環境学における空間放射線防護と放射性物質拡散防止技術の検討 | 後藤 茂（地盤工学会／早稲田大学） |
| 11:15～11:35 | 地盤材料学：超重泥水の材料科学的検討と廃炉技術としての活用 | 長江 泰史（テルナイト） |
| 11:35～11:55 | 地盤環境学：地下水環境に関する調査・解析の成果と課題 | 竹内 真司（日本大学） |
| 11:55～12:15 | 地盤工学技術の原子力分野への展開に関するフロアーディスカッション | 司会：小峯 秀雄（早稲田大学） |
| 12:15～12:20 | 閉会の挨拶 | 鈴木 誠（副委員長、千葉工業大学） |